



『風俗参十二相 遊歩がしたさう 明治年間妻君の風俗』 画／月岡芳年

花かがみ

HANA-KAGAMI

発行人／小笠原 誓 発行所／名古屋園芸株式会社
〒460-0005 名古屋市中区東桜2-18-13 tel.052-931-8701
http://nagoyaengei.co.jp/

125

6

名古屋園芸

父の日も花を贈ろう！



information.....

今年も竹展開催します！

古来より、日用品や工芸品、建材、食品として人々の暮らしに寄り添ってきた竹。縁起物や観葉植物としても親しまれてきました。その変種には、目を疑うほどユニークな形状や、幹の色柄を楽しめるものがあります。名古屋園芸のバイヤーが厳選した竹の銘品を展示即売いたします。近年では栽培が極めて少なくなり、希少価値が高まっています。良品の入手が困難となっているため、大変貴重な品種にも出会えるかもしれません。

七夕前に銘品が一堂に会しますので、ぜひこの機会にご覧ください。

*開催期間：6月7日(土)～7月13日(日)
(展示会の日程は予告なく変更する場合がございます。ご了承くださいませ。)

*開催場所 1階正面玄関前



京都・大阪の版元より刊行された全8冊からなる伊勢參宮の案内書です。本書は、參宮道中の村々の案内や歴史、名所旧跡、寺社の祭礼、芸能、物産などを平易な文章と挿絵で紹介しています。

卷末には内宮・外宮の解説や近江国内の名所旧跡も収録され、江戸時代の參宮文化を伝える貴重な資料です。道中の名所として斎宮の「花園（はなぞの）」でハナショウブが咲く様を次のように紹介しています。

『同所古道にあり○此辺甘町斗の間花菖蒲地に敷て生たり花の時ハ都々紛々（いくゝふんふん）として紫の雲井に遊ぶがごとし他所に此類見る事なし、これをどんばないふ又いにしへかきつけたどいへり爰を斎宮の花園とはいへどもたしかにハナけかだししかれども花園の地名遠ざにあらざれば姑しばらくこの俗にしたがふ』

（伊勢參宮名所図会 第353回 宽政9年（1797） 小笠原 誓著）

三重県明和町には、斎宮のハナショウブ群落が現在も国指定の天然記念物として保存されています。

インパチェンス（八重咲）の寄せ植え
特に八重咲のインパチェンスは直射日光が禁物です。
明るい日陰で最高のパフォーマンスを発揮します。

日陰を楽しもう

日陰では植物が育ちにくい、花が付きにくいといったイメージを持たれがちですが、決してそうではありません。むしろ、日向では見られない植物の魅力があります。

冬の間は日陰で楽しめる花は少ないですが、これから季節は気温の上昇とともに日陰でも楽しめる花が豊富にそろいます。さらに、カラーリーフを楽しめるのも、この季節ならではの魅力です。

お客様からよく相談されるのが、「玄関先に花を飾りたいけれど、日当たりが悪くて育ちにくい。でも何か飾りたい」というお悩みです。玄関先は軒があったり、奥までいたり、マンションでは北側玄関が多かったりと、日光が十分に届かないことが多いものです。しかし、そういう場所でも手軽に育てられる植物が、今の季節には豊富にそろいます。

ギボウシ（ホスタ）は根強い人気があり、今回ご紹介するノブドウ（斑入り）も色の変化を楽しめる面白い植物です。カラーリーフを楽しめる植物には冬に葉を落とす宿根草が多く、冬場は地上部がなくなりますが、春には新芽を出して成長する姿が楽しめます。さらにこれから季節はベゴニア、インパチエンス、トレニアなど、日陰でも楽しめる花がたくさんあります。

日陰も明るく綺麗に見せてくれる植物たち。「日陰だから」と諦めるのはもったいない！日陰だからこそ楽しめるシェードガーデンを楽しみましょう。

ノブドウの寄せ植え 斑入りのノブドウが涼しさを演出します。花が入らなくてもカラーリーフだけでも見ごたえのある1鉢ができあがります。

トレニア カタリーナ ピンクリバー
トレニアのカタリーナシリーズは日陰でも日向でも楽しめる優れもの。

◇ポイント

もうすぐ灼熱の夏がやってきます。4月～5月に植え込んだペチュニア、カリプラコア、ロベリアなどは、これまで「しっかり日に当てましょう」と説明していました。しかし、最近の状況を考えると、一概にそうとは言い切れなくなっています。7月以降の厳しい暑さを考えると、明るい日陰で育てたほうが、より美しく育つ場合があります。

特に寄せ植えやコンテナで植物を楽しんでいる場合、水切れは厳禁です。水が十分に与えられていれば、日に当ても問題ありませんが、水切れを繰り返してしまうと、植物の調子が悪くなってしまいます。そのため、明るい日陰で育てることで水やりの頻度を軽減でき、管理がしやすくなります。

夏の管理が難しい感じる方には、ぜひ明るい日陰での栽培を試してほしいです。これもひとつシェードガーデンの楽しみ方ではないでしょうか。

コンテナや寄せ植えで楽しんでいるペチュニアは梅雨が明けたら明るい日陰に移動しましょう。